

協定企業名	高知工科大学・高知工科大学後援会
交流行事名	高知工科大学－物部川共生の森 2017
開催日	平成29年11月12日（日）
開催場所	香美市
主な参加者・人数	高知工科大学参加者（9名）、高知工科大学職員（5名）、物部森林組合（4名） 土佐塩の道保存会（3名）、地元スタッフ（2名）、香美市（5名）、高知県（1名） 計29名
交流活動の概要	塩の道ウォーキング、間伐体験
当日の様子	<p>平成29年11月12日（日）、高知工科大学・高知工科大学後援会、物部森林組合、香美市、高知県による「高知工科大学－物部川共生の森 2017」が開催されました！本日の活動内容は塩の道ウォーキングと間伐体験です。</p> <p>参加者一同は高知工科大学に集合し、塩の道ウォーキングの入口である香北町久保川へ移動します。</p> <p>現地で土佐塩の道保存会のスタッフによる挨拶と概要説明を聞き、久保川見渡し地蔵→庄谷相の約5.6kmのウォーキングコースをスタートします！</p> <p>塩の道とは、約400年前に赤岡町でとれた塩を物部の里まで運ぶために人々が行き来していた産業道です。塩以外にもお茶や穀物など様々な物資が運ばれていたようです。</p> <p>土佐塩の道保存会の会長である公文寛伸様によるベテランガイドで、当時の塩の道の様子を思い浮かべながらウォーキングを行いました。</p>
	     

道中では、今年の10月22日から23日にかけて発生した台風21号の影響で、多くの倒木被害が見られました。塩の道保存会スタッフや香美市職員、また、地域のボランティアにより、塩の道を通れるように倒木処理などの整備を行ったとのこと。



昼食に用意されたお弁当は、「おばやんの竹弁当」です。名前にもあるように、器は竹でできており、地元の野菜や旬の山菜をふんだんに使用したとても美味しい健康的なお弁当でした！

この「おばやんの竹弁当」は土佐塩の道のオリジナル弁当だと伺いました。

塩の道は、平成16年に日本ウォーキング協会が選定する「歩きたくなる道500選」に選ばれています。

公文会長を中心として、地元のみんで盛り上げていこうという思いが伝わりました！



ご飯を食べた後は、物部町の柳瀬に場所を移動して間伐体験を行いました！

物部森林組合の職員から間伐についての指導を受けて、いざスタートします。

参加者一人につき最低1本は倒そうということで、2グループに分けて間伐体験を行いました。





多くの参加者は初めての間伐体験とのことでした。
感想を伺うと、「とても貴重な体験だった！」・「木が倒れる瞬間がおもしろい！」などといった声が挙げられました。



ウォーキング・間伐体験と、健康的な一日を過ごすことができました。
来年度もぜひ参加したいです！本日は参加させていただきありがとうございました！